

公益社団法人 日本都市計画学会

関西支部 2022年度総会

議案書

2022年4月9日

公益社団法人 日本都市計画学会

議 事

1. 開会の辞

2. 支部長挨拶

3. 議案

- (1) 第1号議案（2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告について）

報告事項1 2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について

- (2) 第2号議案（2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針について）

報告事項2 2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

- (3) 第3号議案（2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について）

4. 閉会の辞

目 次

【第1号議案資料】2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告

- 1) 幹事会経過報告
- 2) 都市計画講演会ならびにシンポジウムの開催
- 3) 都市計画フィールドワークならびにワークショップの開催
- 4) 会計および会員管理について
- 5) 広報について
- 6) 都市計画研究会活動支援について
- 7) 国際・交流活動について
- 8) 関西まちづくり賞について
- 9) 研究発表会の開催について
- 10) Webサイトの更新と情報発信について
- 11) 委員会への会員の公募参加について
- 12) 特別委員会「関西支部30周年特別委員会」の活動について
- 13) 特別委員会「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」の活動について

【報告事項1】2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について

【第2号議案資料】2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針（案）

- 1) 主な事業の日程概要
- 2) 新たな計画課題にむけて多世代・多分野の協働と人材育成につながる支部活動について
- 3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワークの開催
- 4) 広報について
- 5) 都市計画研究会活動支援について
- 6) 国際・交流活動の推進
- 7) 関西まちづくり賞について
- 8) 研究発表会について
- 9) 委員会への会員公募参加について
- 10) 特別委員会「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」の活動について

【報告事項2】2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

【第3号議案資料】2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

- 【資料 1】 公益社団法人日本都市計画学会関西支部規程
- 【資料 2】 公益社団法人日本都市計画学会関西支部運営規則
- 【資料 3】 関西支部会員数
- 【資料 4】 関西支部予算（予算枠）の推移
- 【資料 5】 研究支援「都市計画研究会」の募集 応募要領（2022 年度）
- 【資料 6】 関西まちづくり賞表彰実績
- 【資料 7】 「第 20 回関西支部研究発表会」開催案内および発表の募集
- 【資料 8】 各種委員会委員の公募 募集要領
- 【資料 9】 関西支部役員および委員（2022 年 3 月 1 日現在）

【第1号議案資料】

2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告

1) 幹事会経過報告

開催日時		主な議事及び決定事項
第1回 2021. 5. 27	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	支部長より本部理事会の報告 委員会体制・委員公募の確認、決定 活動支援する都市計画研究会の公募の状況報告と再公募実施 後援名義の使用許可の手続きの明確化 Web ページ、メーリングリストの運用確認 研究発表会の方針の決定 30周年事業のアウトラインの検討
第2回 2021. 7. 8	1. 2. 3. 4. 5.	支部長より本部理事会の報告 委員名簿の確定 活動支援する都市計画研究会の決定 支部研究発表会のオンライン開催について検討 30周年事業の内容について検討
第3回 2021. 10. 7	1. 2. 3. 4. 5.	支部長より本部理事会の報告 2022年度事業計画、予算の作業スケジュール周知等 Web ページの見直しの方向性の検討 研究支援のあり方について検討 30周年事業の当日の段取りの確認
第4回 2021. 12. 14	1. 2. 3. 4. 5. 6.	支部長より本部理事会の結果報告 2022年度事業計画、予算の確認 Web ページの見直しの予算要求の検討 40周年事業に向けた予算積立の検討 2022年度総会の検討 関西まちづくり賞の審査状況報告
第5回 2022. 1. 28	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	支部長より本部理事会の報告 2022年度予算・事業計画の状況 2021年度予算執行状況、決算スケジュールの確認 「いま、都市をつくる仕事」オンデマンド出版についての報告 関西支部2022年度総会開催、2022年度の委員計画についての検討 学生ワークショップ報告会（岸和田：12/18）、シンポジウム（1/22）開催報告 2021年度国際都市計画セミナー（1/14）開催報告 第20回研究発表会（2022年7月30日開催）論文募集案内の検討
第6回 2022. 3. 7	1. 2. 3. 4. 5.	2021年度決算及び2022年度予算について 2022年度委員および委員公募についての検討 2022年度総会の開催・案内方法の検討 活動支援する都市計画研究会の公募の検討 2022年度役員選出の検討

参考：【資料1・2】

2) 都市計画講演会ならびにシンポジウムの開催

<講演会>

テ ー マ : 大阪的ウォークアブル/御堂筋となんば駅前で広がる歩いて楽しいミナミ

開催日時 : 2022年2月28日(月) 19:00 ~ 21:00

開催場所 : オンライン開催

講 演 : <事例紹介>

①御堂筋のチャレンジ : 沿道地権者でマネジメントする道路空間

ミナミ御堂筋の会 事務局/㈱地域計画建築研究所(アルパック) 絹原一寛 氏

②なんばひろば改造計画 : 民間発意で車道を広場に变える!

南海電気鉄道㈱まち共創本部グレーターなんば創造部課長補佐 福井良佑 氏

<クロストーク> 世界一の歩いて楽しい街をつくりだす! ミナミの挑戦!

モデレーター : 大阪市立大学 教授 嘉名光市 氏

スピーカー : ミナミ御堂筋の会事務局 絹原一寛 氏

南海電気鉄道㈱ 福井良佑 氏

内 容 : 現在、全国では道路空間を活用した「居心地が良く歩きたくなる(ウォークアブル)」まちなかづくりの取り組みが推進されている。今年度、大阪ミナミエリアでは、御堂筋、なんば駅前の2つの歩行者空間活用の社会実験が実施された。講演会では、2つの取り組みの事例紹介と道路空間活用やエリアマネジメントの課題や展開について語るクロストークを行った。

参 加 者 : 133名

<シンポジウム>

テ ー マ : 都市農地とこれからのまちづくりを考える

開催日時 : 2022年1月22日(土) 13時50分~17時

開催場所 : オンライン開催(キャンパスプラザ京都から配信)

内 容 : 近年、都市農地の位置づけが「宅地化すべきもの」から都市に「あるべきもの」へ大きく転換するとともに、生産緑地法の改正や、都市農地貸借円滑法など、都市農地の保全に向けた法改正等がある一方で、2022年には特定生産緑地への移行が始まるなど、都市農地をとりまく環境が大きく変わってきている。都市農業の多様な機能の発揮を通じた都市農地の有効活用及び適正な保全に向け、どのような法制度をツールとして用いて、農あるまちづくりを推進していくべきか、シンポジウム形式で議論した。

基調講演 : 「これからの農あるまちの姿」

東京大学 大学院工学系研究科 教授 横張 真 氏

「都市農地に関する法制度と農あるまちづくりについて」

国土交通省 都市局 都市計画課 課長補佐 酒井翔平 氏

パネルディスカッション：「自治体と農家の考える都市農地の活用方法」

モデレーター：加我宏之 氏（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授）

パネラー：

山田 隆大 氏（神戸市 経済観光局 農水産課 食都担当課長）

今井 義弘 氏（京都市 農業委員会 委員）

渡邊 幸浩 氏（JA京都市 理事 兼 青壮年部部長）

参加者：111人（全員オンライン参加）

3) 都市計画フィールドワークならびにワークショップの開催

＜フィールドワーク①＞

テーマ：暮らしを観光資源にしたまちづくり ～龍野城下町の戦略～

日時：2021年8月7日（土）13：30～16：00

対象地区：兵庫県たつの市龍野町旧市街地

内容：日本らしい城下町の暮らしが今でも日常の中に息づいている龍野のまちには、武士の作法「サムライコード」が生き続けている。今回は、市民出資の不動産会社を営みながら、建築物のリノベーションなどを通じて幅広くまちおこしを手掛ける畑本氏から概要をお聞きするとともに、現地を案内していただき、暮らしと文化を未来へ引き継ぐ取り組みについて理解を深めた。

講演：「暮らしと文化を未来へ引き継ぐまちづくり～サムライコードを100年先まで」

株式会社緑葉社 代表取締役 畑本康介 氏

参加者：13名

＜フィールドワーク②＞

テーマ：神戸都心・三宮再整備フィールドワーク ～美しき港町・神戸の玄関口～

日時：2021年10月11日（月）14：00～17：00

対象地区：兵庫県神戸市三宮エリア周辺

内容：神戸・三宮では、平成27年9月、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]、三宮再整備基本構想の策定以降、「人が主役のまち」「居心地の良いまち」を目指して、三宮クロススクエアを核とした新しい駅前空間「えきまち空間」や西日本最大級の中・長距離バスターミナルを含む市街地再開発事業、駅ビル、市庁舎の建て替えなど官民多数の事業が進んでいる。次々と新しい姿を見せる三宮の今と、今後の目指す姿について、近年の整備事例を中心に都心・三宮再整備を担当する神戸市職員から概要を聞き、フィールドワークを通じて理解を深めた。

講演：「都心三宮再整備について」

神戸市都市局都心三宮再整備課 村上係長、中田係長

参加者：20名

<ワークショップ>

テーマ：岸和田・木材コンビナートの将来ビジョンを考える

日時：1日目：2021年10月13日（水）18：30～20：30

2日目：2021年11月20日（土）14：00～17：00

3日目：2021年12月18日（土）14：00～17：30

場所：1日目：オンライン開催

2日目：現地（木材コンビナート周辺）

3日目：大阪市立大学文化交流センター大ホール

内容：大阪の南部、岸和田市と忠岡町にまたがった形で立地する「木材コンビナート」は、「東洋一の木材工業集積地」をめざして、昭和41年（1966年）に完成した。最盛期には、多くの合板工場が軒を連ね、貯木場には、南洋材の丸太が所せましと浮かぶ姿が見られたが、木材の輸入形態が原木から製品へ移行し原木取扱量が減少したため、現在では、貯木場の余剰水面が増加している。今回は、複数の大学から構成されるグループで、将来的な土地利用転換が見込まれるこの木材コンビナートを題材に、現地調査を行い、立地特性を活かした新しい土地利用のコンセプトなどを検討し、提案を競った。

参加者：28人（全て学生）

4) 会計および会員管理について

2022年度予算案の作成、ならびに2021年度の決算書の作成を行った。

5) 広報について

1. 支部だよりの発行

「日本都市計画学会関西支部だより」No. 36をWEB発行し、メーリングリストにより会員へ周知した。前号（No. 35）からWEB発行へと移行し、昨年度中にメールアドレス登録のない支部会員へは案内を送付し、メールアドレスの登録を依頼したため、今年度は紙版の郵送は行っていない。特集のテーマは「都市経営とまちづくり」とし、インタビュー記事の公開や、論考の執筆依頼を行った。

□特集

小紫雅史（生駒市長）「ワーク・ライフ・コミュニティが融合した次世代住宅都市へ」

山口照美（大阪市生野区長）「課題最先端エリアから課題解決最先端エリアへ」

山田大輔（神戸市企画調整局副局長）「里づくりと都市経営」
大東市の公民連携まちづくり、インタビュー記事：入江智子（大東公民連携まちづくり事業株式会社代表取締役）、猪飼隆介（枚方信用金庫業務部）
深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）「ローカルファイナンスと社会的投資（仮）」
馬場美智子（兵庫県立大学 減災復興政策研究科 教授）「水害リスクと都市計画～より安全なまちづくりにおける自治体の役割～」
プロジェクトトーキング「水都大阪」：武田重昭（大阪府立大学）・絹原一寛（地域計画建築研究所）・山崎嵩拓（神戸芸術工科大学）

2. 本部学会誌「都市計画」に関する企画編集

本部学会誌「都市計画」においては、関西支部の活動報告、都市計画情報の掲載ページ（支部 Topics）に関する企画編集と執筆依頼を行った。

350号「地域住民による地域再生への創造的挑戦－2020年度関西まちづくり賞」

：牧紀男（関西支部関西まちづくり賞委員会委員長／京都大学）

351号「歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）の指定と今後の展望」

－全国初の指定・関西3都市（大阪市・神戸市・姫路市）における取組

：小松靖朋（大阪市）／牛若健吾（神戸市）／内藤隆弘（姫路市）

352号「morineki プロジェクト」

：入江 智子（大東公民連携まちづくり事業株式会社代表取締役）

353号「うめきた2期区域のまちづくり」

－「みどり」と「イノベーション」の融合拠点に向けて

：都市再生機構（UR 都市機構） 西日本支社うめきた都市再生事務所

354号「関西支部30周年事業」

：関西支部30周年特別委員会（委員長・小浦久子）

355号「2021年秋の道路空間利活用社会実験 ー大阪，京都」

：都市計画学会関西支部編集広報委員会

6) 都市計画研究会活動支援について

1. 支援を行った都市計画研究会の活動状況等報告会の実施

関西支部ウェブサイトにて、2020年度研究助成（最終報告2件、中間報告1件）の報告を行った。

2. 都市計画研究会への活動支援の実施

下記の4件の都市計画研究会に対して助成を行った。

継続(1) 「豪雨災害と居住地再生研究会」

代表：田中 正人

新規(1) 「グリッド状に整備された地域に存在する街路空間の活用検討研究会」

代表：大坊 岳央

新規(2) 「桂坂まちづくり研究会」

代表：岡田 直司

新規(3) 「関西のテロワールを掘り起こす研究会 (通称) かん・ほり研」

代表：萬田 剛史

7) 国際・交流活動について

1. 委員会の開催記録

(1) 2021年6月30日(水)、7月26日(月)、8月25日(水)、9月17日(金)、11月8日(月)、12月6日(月)

新型コロナウイルスの感染状況を慎重に判断しつつ、2021年度の活動内容を検討し、留学生、都市計画・まちづくりを仕事とする社会人、都市計画・まちづくり分野への就職を考える学生に対して、対面による学生向け交流イベントと国際都市計画セミナーを開催することを決定した。

2. 活動内容

(1) 学生向け交流イベント：「戦前長屋の街へタイムトラベル：大阪市大正区泉尾の街歩き」

日 時：2021年10月16日(土) 13:30～17:00

場 所：大阪市大正区泉尾エリア

参加者：14名(うち、大学院生・学部生は7名)

内 容：古き良き戦前長屋や昔ながらの人情味あふれる商店街が広がり、近年では、ヨリドコ大正メイキンに代表される、昭和レトロな空家のリノベーションによる再生を通じて、モノづくりを営むクリエイターやアーティストが集う温かみのある街。大阪市大正区泉尾。このエリアを対象に、まちあるき・まち攻略ゲームに取り組みながらの街歩きを通じて、学生交流を図った。

(2) 国際都市計画セミナー：「イタリアの小さな町 暮らしと風景—地方が元気になるまちづくり—」

日 時：2022年1月14日(金) 18:30～20:30

会 場：(株)竹中工務店大阪本店御堂ビル1階いちょうホール

参加者：69名(社会人、大学院生、学部生等)

内 容：建築家・都市デザイナーとしてINOPLAS都市建築デザイン研究所を主宰するとともに、イタリアのメルカテッロ・スル・メタウロ名誉市民でもある井口勝文さんをお招きし、人口1,400人足らずの中部イタリアの山奥の町・メルカテッロの紹介を通じて、「豊かな生活」「地方分権」「都市政策」「風景計画」「町家再

生」をはじめとした、ヨーロッパが目指すポストモダン（脱近代化）の社会について講演を頂いた。また、小さな町における本当の豊かさや地域ストックの活用など、わが国の特に過疎地における地域活性化のヒントについて、参加者も交えた質疑応答と活発な意見交換を行った。

8) 関西まちづくり賞について

1. 委員会等の開催記録

- ・ 第1回委員会(2021年5月11日) 2021年度募集要領の検討等
募集期間(2021年6月7日～8月27日)
- ・ 第2回委員会(2021年9月6日) 選考方法の検討、現地調査・質問事項の検討
- ・ 現地調査(2021年10月13日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 現地調査(2021年11月13日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 現地調査(2021年11月15日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 現地調査(2021年11月24日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・ 第3回委員会(2021年12月17日) 現地調査の総括、受賞対象者の選考
- ・ 第4回委員会(2022年3月22日) 表彰式、プレゼンテーションの段取り

2. 2021年度関西まちづくり賞 表彰式

2021年12月4日(土) 於) 兵庫県立大学 神戸防災キャンパス

成果・実績の名称:

『「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業(咲つく南花台わくわくプロジェクト)』

受賞者: 河内長野市、株式会社コノミヤ、関西大学団地再編プロジェクト、
南花台スマートエイジング事業 総合研究会、大阪府、独立行政法人都市再生機構西日本支社

『産官学連携による京都嵯峨野の竹林・田園保全 ～地域内連携を活かした循環型産業～』

受賞者: 嵯峨地域農場づくり協議会、NPO 法人ひとともしりデザイン研究所、京都市風致保全課、NPO 法人京都発竹流域環境ネット、株式会社アドプランツコーポレーション、景勝 小倉山を守る会、京都産業大学総合生命科学部、京都市動物園

『北岡本 100年続く森づくり事業』

受賞者: 北岡本自治会

9) 研究発表会の開催について

2021年7月31日(土)、オンラインにて、第19回研究発表会を開催した。大学・行政・企業の若手研究者を中心とした36編の研究発表があり、91名の参加者を得て活発な質疑・討論が行われた。

発表会で選定している奨励賞には、以下の6名の方が選ばれた。

- (1) 逆線引き実施のプロセスと課題に関する研究 — 京都府舞鶴市を対象として —
吉田隼斗さん (国土交通省大臣官房)
- (2) 重要文化的景観選定区域で実施されるクラウドファンディングの特徴
赤坂尚哉さん (大阪大学大学院工学研究科)
- (3) 廃校活用の優良事例における地域参画のプロセスに関する研究
舟瀬優月さん (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)
- (4) モバイル位置情報データを用いた歩行者回遊密度と街路構成の関連分析 — 大規模ターミナル駅周辺を対象として —
中井智仁さん (大阪市立大学大学院工学研究科)
- (5) 水害常襲地に帰還する住民の再被災リスク認知と住宅耐水化に関する研究 — 平成30年7月豪雨の被災地倉敷市真備町を対象として —
藤井諒平さん (神戸大学大学院工学研究科)
- (6) 散歩道に着目した地域の体験価値に関する研究
中村太郎さん (京都大学大学院工学研究科)

10) Webサイトの更新と情報発信について

サーバーにおける全体的なWeb管理を行い、委員会ごとにWebページやメーリングリストの運用を行った。

併せて、Webサイトの全面見直しを行うために、本部へ令和4年度の見直しに係る予算要求を行うとともに、今年度、既存Webの現状把握と新Webサイト移行に向けた方針の検討を行った。

11) 委員会への会員の公募参加について

2021年度は、企画委員会、編集・広報委員会、国際・交流委員会、研究発表委員会の委員公募し、企画委員会1名、国際・交流委員会1名の応募があり、委員への就任を頂いた。

12) 特別委員会「関西支部30周年特別委員会」の活動について

下記のとおり30周年記念事業を実施した。

(1) 記念出版

「関西支部10年の歩み 2011-2020」を企画・出版し、記念フォーラム参加者に配布した。
あわせてWEBページを作成し、記念誌および資料編を作成・掲載した。

【本編目次】

はじめに

関西支部 30 周年記念 歴代支部長座談会

関西都市計画 10 年の歩み

関西まちづくり賞 10 年の動向

支部活動 10 年の記録

【資料編目次】

支部活動記録①都市計画講演会・シンポジウム

支部活動記録②都市計画フィールドワーク・ワークショップ

支部活動記録③国際交流活動

支部活動記録④研究発表会

支部活動記録⑤支部だより

支部活動記録⑥特別委員会「大規模災害からの都市復興の再検証と知識の継承」

この 10 年の関西の都市計画トピックス（分野別年表）

(2) 記念フォーラム

開催日時：2021 年 10 月 23 日（土）

開催場所：キセラ川西せせらぎ公園・キセラ川西プラザ大会議室

定員：100 名

参加費：無料

主催：公益社団法人 日本都市計画学会関西支部

後援：川西市

【プログラム】

【午前の部：アイデアコンペ公開選考会】@キセラ川西プラザ大会議室

9:30～ 受付開始

10:00～12:00 「2040 年のライフスタイルが紡ぐまちの姿」アイデアコンペ 公開選考会

12:10～12:30 授賞式

ゲスト審査員：アサダワタル（文化活動家）

岸本千佳（不動産プランナー）

【午後の部：30 周年記念フォーラム】

13:30～ 受付開始

14:00～14:10 開会：支部長挨拶・川西市長挨拶

14:10～15:10 セッション① 関西都市計画のこの 10 年を振り返る

@キセラ川西せせらぎ公園

ゲストコメンテーター：饗庭伸（東京都立大学）

15:10～15:30	パネル展示 近年の都市計画の取り組み事例 @キセラ川西プラザ大会議室
15:30～16:50	セッション② ライフスタイルが紡ぐまちのみらい @キセラ川西せせらぎ公園
16:50～17:00	閉会：30周年特別委員会委員長挨拶

13) 特別委員会「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」の活動について

若手会員で構成される「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」を新たに組織し、主に関西を対象に、2040年前後を想定した多様な「ライフスタイル」とそれらの背景にある「トレンド」、さらには、これらのライフスタイルを支える都市・地域のプランニングについて議論を深めた。4回の公開研究会と若手世代を対象とする「2040年のライフスタイルが紡ぐまちの姿」アイデアコンペを実施するとともに、若手学会員の論考集を作成し、以上の成果を新設したHPで公開した。

これらの成果を10月23日(土)に開催された関西支部30周年記念フォーラムにて報告を行った。

【報告事項 1】

2021 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について

(後日、反映)

【第2号議案資料】

2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針（案）

1) 主な事業の日程概要

2022年度活動予定表

4～6月	○関西支部総会（4月9日） ○研究支援の募集・締切（総） ○研究発表の募集・締切（研）	○都市計画フィールドワーク (第1回)（企）
7～9月	○研究発表会の開催（研） ○海外都市計画交流会（国） ○関西まちづくり賞募集・締切（ま）	○都市計画講演会（企）
10～12月	○関西支部30周年記念式典 ○学生のための職場訪問（国） ○留学生、非会員向け見学会（国） ○関西まちづくり賞現地調査（ま）	○都市計画フィールドワーク (第2回)（企） ○都市計画ワークショップ（企） ○支部だよりの発行（編）
1～3月	○関西まちづくり賞選考（ま） ○支部だよりの発行（編）	○都市計画シンポジウム（企） ○新Webページの開設（総）

委員会名称：（総）総務委員会、（企）企画委員会、（編）編集・広報委員会、
（ま）関西まちづくり賞委員会、（研）研究発表委員会、（国）国際・交流委員会

2) 新たな計画課題にむけて多世代・多分野の協働と人材育成につながる支部活動について

支部活動は、会員、賛助会員へのサービスのみならず、多様な地域課題に対して専門的な貢献を果たすために、さらなる活動の活性化、次世代の裾野の拡大を図る必要がある。そのため、以下の実現に努める。

- (1) 関西支部のこれまでの蓄積と成果を踏まえ、出身とする専門分野や関西における主な活動の場の相違、あるいは産官学といった垣根を越えた業際・学際的な人的ネットワークの充実および研究・実践における協働を図る。特に、これからの関西の都市計画分野を支える人材の発掘と育成支援を積極的に行う。
- (2) 支部活動の広報・連絡活動のインフラとしてのWebシステムのより効率的な運用を通じて、会員はもとより全国に向け関西における都市計画・まちづくりの取り組みを積極的に発信していく。情報発信をより効果的に行うために、2022年度は新Webページの作成を行う。
- (3) 都市計画分野の継続教育(CPD活動)に資するプログラム(都市計画講演会及びシンポジウム、都市計画フィールドワーク、研究発表会等)をさらに充実して実施する。
- (4) 支部活動の基本である各委員会の運営に関し、若手・中堅層を中心に広く会員の参加を得て活性化を図る。そのために委員公募を積極的に検討する。
- (5) 支部会員数の減少傾向に鑑み、オンラインの活用等も含め関西広く社会ニーズに対応した行事の企画・運営や会員サービスを充実し、学生ならびに自治体・コンサルタント等の都市計画・まちづくり担当者の当学会への関心を高めて、会員増強につなげる。

(6) 関連する学協会・業界団体等との関係を深め、イベントの共催・後援などを通じて多様な人材の交流と学習の場を提供する。それらの活動から実践と学術的知見をつなぎ、都市まちづくり分野での産官学のプラットフォームの形成を試行する。

3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワーク等の開催

人口減少下での持続可能な都市・地域づくりが求められるなか、都市・地域計画に求められる課題や役割が変化している。社会経済の変動を背景に計画分野の新たな動向をとらえ、多様な分野の人が集まり多角的に考える機会を提供する都市計画講演会・シンポジウムならびにフィールドワークを企画・開催する。

これまでも先進的に独自の発想にもとづき展開してきた関西の都市づくりについて知見を深め、地域の環境形成に寄与する情報交流の場となるよう、計画技術の継承発展にとどまらず、計画に関わるテーマについて社会的・経済的・文化的観点から広く取り上げていく。都市づくりの担い手と出会う、現場で意見交換するなど、参加することの魅力を高める工夫とともに、会員の関心を広げていくことをめざすとともに、昨年度に引き続き、今年度も学生等幅広い方々の参加を求め、学会への関心を高めるようなフィールドワークやワークショップを開催する。

4) 広報について

「日本都市計画学会関西支部だより」のWEB発行を通じて、関西を中心とする都市計画・まちづくりに関する論説、話題、事業の紹介等を行う。WEB化にともない、記事発行は年間を通して行うこととし、2022年9月までは旧号(No. 36)の記事掲載を継続し、11月より新号(No. 37)の記事掲載を開始する。また、2021年度の活動を引き継ぎ、編集・広報委員による取材企画や会員による論考の発表企画、各支部の活動紹介などを進め、広報活動のさらなる充実を図る。

また、本部学会誌「都市計画」に毎号掲載される支部トピックスの企画編集を行い、関西のまちづくりや都市計画に関する情報を全国に発信する。

5) 都市計画研究会活動支援について

2021年度から継続する3件の都市計画研究会への活動支援に加えて、「都市計画研究会活動支援に関する要綱」に従い、新規1件の支援を行う。

参考：【資料5】

6) 国際・交流活動の推進

都市計画に関心を持つ学生と社会人とが交流し情報交換を持つ場として「都市計画・アーバンデザインの仕事場をたずねる」や留学生を対象とする「関西のプロジェクト見学会」を実施する。また、近年、海外の都市計画の実務経験を有する人が増えており、その方々の経験を共有する場として、まちづくり・都市計画実務者向けの「海外都市計画セミナー」を開催する。コロナ禍においては、オンラインも上手に活用しながら、以上の3つの活動を日常的かつ継続的に行うことで、都市計画専門家、学生及び留学生、社会人等との人的ネットワーク形成を推進し、新規会員の獲得へつなげる。さらに、このような国際交流の流れがアジア等諸都市への都市計画交流会といった展開になっていくことを目指す。

7) 関西まちづくり賞について

関西で実施された地域まちづくり活動や空間整備又は制度づくりや計画策定で、優れた成果・実績・効果があるものについて、広く募集・推薦を求め、関西まちづくり賞の表彰を行う。

そのため、関西まちづくり賞の趣旨をわかりやすく発信し、できるだけ多くの応募・推薦を集める努力を行う。

賞の選考に当たっては、応募者ヒアリングや現地調査を実施し、十分に議論する等、公正な審査を行う。選考された地域まちづくり活動等は、関西における優れた成果・実績・効果であるとして表彰するとともに、その内容や評価したポイント等を情報発信する。

参考【資料6】

8) 研究発表会について

2022年度第20回関西支部研究発表会を、7月30日(土)大阪公立大学文化交流センター(大阪駅前第2ビル6階)にて開催する(新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン開催とする場合もある)。投稿および発表会への参加については、大学等の教育研究機関関係者だけではなく、広く、行政関係者・民間企業・コンサルタント関係者等、都市計画の第一線で活躍されている方々の参加を歓迎する。

なお、今年度の投稿申込締切は、5月25日(水)、原稿提出締切は6月22日(水)としている。応募方法や原稿執筆要領等の詳細は、支部ホームページに掲載している。

参考：【資料7】

9) 委員会への会員公募参加について

各種委員会の委員を公募する。

参考：【資料8】

10) 特別委員会「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」の活動について

2021年度の関西支部30周年記念フォーラムにて中間報告を行った成果をベースに、さらに将来の新しい生活様式に対応した空間計画や土地利用のあり方、居住地選択の多様化にともなう広域の地域再編の可能性など、これからの都市計画を考えるための視点や方法について検討を行い、今後の都市戦略を展望するための調査研究を実施し、より広く成果を普及公開するための議論を行う。

【報告事項2】

2022 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

(後日、反映)

【第3号議案資料】

2022年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

委員会	担当	所属
支部長	川田 均	南海電気鉄道
副支部長	嘉名 光市	大阪公立大学
〃	岡 絵理子	関西大学
〃	中塚 一	地域計画建築研究所
総務委員長	三崎 信顕	大阪府
〃 副委員長（総務担当）	紅谷 昇平	兵庫県立大学
〃 副委員長（会計担当）	松崎 富士子	大阪市
関西まちづくり賞委員長	澤田 雅浩	兵庫県立大学
〃 副委員長	酒本 恭聖	川西市
〃 副委員長	中野 茂夫	大阪公立大学
企画委員長	吉田 長裕	大阪公立大学
〃 副委員長	西江 誠	大阪市
〃 副委員長	笹井 浩	総合調査設計
国際・交流委員長	大庭 哲治	京都大学
〃 副委員長	栗山 尚子	神戸大学
編集・広報委員長	泉 英明	ハートビートプラン
〃 副委員長	阿部 大輔	龍谷大学
研究発表委員長	川口 将武	大阪産業大学
〃 副委員長	徳勢 貴彦	スペースビジョン研究所
〃 副委員長	山口 行一	大阪工業大学
ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会 委員長	山口 敬太	京都大学
〃 副委員長	松本 邦彦	大阪大学
〃 副委員長	野村 はな	ヘッズ